

施設名称

東京大学医学部附属病院

施設において移植可能な臓器



病院の特徴

- 対象原疾患：胆道閉鎖症、代謝性肝疾患（ウィルソン病、シトルリン血症、家族性アミロイドニューロパチーなど）、劇症肝炎、ウイルス性（B型・C型）非代償性肝硬変、原発性胆汁性胆管炎、原発性硬化性胆管炎、慢性胆汁鬱滞性肝硬変、アルコール性肝硬変、代謝機能障害関連脂肪肝炎、原発性肝細胞癌（保険適用はミラノ基準内あるいは癌が5cm5個AFP500ng/ml以内）、バッドキアリ症候群、門脈血行異常、肝移植後グラフト不全、など
- 昨年度の生体肝移植数：51例
- 移植担当医師（長谷川潔、赤松延久、裊成寛）、● 移植認定医数 6名、● 認定レシピエント移植コーディネーター4名
- 移植実施施設としての特徴：生体ドナーの安全性を最重視したうえで、レシピエントに対しては「高度で安全な、最高の肝移植を施行する」「重症患者も諦めない見捨てない」をモットーの下、他施設で移植適応外とされたケースも数多く引き受け、良好な成績を得ています。脳死肝移植5年生存率95%（N=134）、生体肝移植5年生存率85%（N=945）。

待機患者数 (作成日現在)

107人
(成人107人)

Status II MELD 25点以上20人
MELD19点以上40人

死体移植実施数 (過去3年間)

12件 (2022年)
うち肝腎同時移植2件
22件 (2023年)
うち肝腎同時移植3件
31件 (2024年)
うち肝腎同時移植1件

お問い合わせ先

東京大学医学部附属病院
人工臓器移植外科
(担当) 赤松延久
電話：03-3815-5411 (内36018)
Email: nakamats-ky@umin.ac.jp
診療科HP：
<https://plaza.umin.ac.jp/htokyotransplant/hbp/index.html>